	自ら応募した者								応募の理由
	氏名	性別	年齢	職業	経歴 職名・役職等	農業経営状況		認定農業者 の有無	
						作付内容	耕作面積		
1	波澄 洋子	女	71	無	昭和44年4月から平成23年3月まで志木市役所に勤務し、行政事務に携わる。 平成23年7月から平成28年3月まで生活保護支援相談員として勤務し、社会福祉事務に携わる。 令和元年12月から民生委員・児童委員として活動し、現在に至っている。 また、平成25年1月からあさか野農業協同組合女性部宗岡支部の組織において活動し、令和4年4からはリーダーとして現在に至っている。	無	無	無	志木市の農業は、都市型で宅地化が進み、農業の確立が必要不可欠であります。昨今の農業従事者の減少や遊休農地の発生など、農業を取り巻く様々な問題を踏まえ、地域の農業を支える担い手の確保、育成は課題となっております。農業者に情報を提供していくことも、重要になっていると思います。 今まで、女性農業委員の研修会や朝霞地区農業委員の研修会、研修視察等、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止になり、農業経営や農地利用最適化推進等に関する情報交換の機会を得ることが難しい状況であったため、改めて農業委員として、研修の機会を与えていただけたら幸いです。 また、農地法に基づく農地の売買、貸借の許可、農地転用案件への意見具申、遊休農地の調査・指導などを中心に、農地に関することについて、微力ではありますが、志木市のために、重要な役割をしっかりと受け持ち、責任をもって己の果たすべき任務を行いたいと思い応募します。
2	後藤 崇哉	男	51	無	平成7年、東京国税局に入局後、令和3年退官まで主として資産課税事務に従事。相続税等の納税猶予事務の担当経験あり。 現在は志木にて税理士・行政書士事務所を開業している。	無	無	無	税務署勤務時に納税猶予の現地確認を行う際に、農業委員会の方に同席してもらい、お話をすることがありました。 農業の担い手が不足しており、遊休化している農地の活用に苦慮されていること、また、相続税等の納税資金の捻出のために売却せざるを得ないこと等、農業をめぐる農家の方々の悩みについて直接伺い問題意識を持つようになりました。 昨今の円安による輸入価格の上昇から、農産物の自給化の議論が交わされている中、今後の志木の農業を維持するために何か力になれないかと考え応募をいたしました。